

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 I	NLA11_010	必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
風間 絢日	415	ayaka.kazama	火曜日 14:30~16:00		
授業の目的・概要	急速に国際化が進むなか、国内の医療従事者においても外国語で対応する必要がある場面が増えてきている。大学英語の入門として「使える英語」の習得を目指し、英語の4技能(聞く、話す、読む、書く)を養い、英語の基礎学力と基本的なコミュニケーション能力の向上を図る。また、英語の学習に積極的に取り組む姿勢を養う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	予習を必ず行ったうえで授業に臨み、また授業中には積極的にグループワークやペアワークに参加すること。また復習をすることで学習したポイントを定着させ、使える英語を身に付けることができる。				
教科書	English Day!/著・Robert Hickling/金星堂/2023				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	英語を積極的に使う態度を身に付けている。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
②	日常的な英語を聞いて理解することができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
③	自分の伝えたいことを英語で表現することができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
④	習得した文法知識を正しく使いこなすことができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
⑤	習得した語彙を適切に使いこなすことができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンスと Unit 1:授業内容と学習方法について、また現在動詞 (be 動詞) について学習する。	講義	教科書 Unit 1 を予習し知らない単語等を調べておく。	1	
2	Unit 2:現在動詞 (一般動詞) について学習する。	講義	教科書 Unit 1 の復習をし Unit 2 の予習をする。	1	
3	Unit 3:名詞について学習する。	講義	教科書 Unit 2 の復習をし Unit 3 の予習をする。	1	
4	Unit 4:代名詞について学習する。	講義	教科書 Unit 3 の復習をし Unit 4 の予習をする。	1	
5	Unit 5:前置詞について学習する。	講義	教科書 Unit 4 の復習をし Unit 5 の予習をする。	1	
6	Unit 6:WH 疑問文について学習する。	講義	教科書 Unit 5 の復習をし Unit 6 の予習をする。	1	
7	Unit 7:過去動詞 (be 動詞と一般動詞) について学習する。	講義	教科書 Unit 6 の復習をし Unit 7 の予習をする。	1	
8	Unit 8:現在進行形と過去進行形について学習する。	講義	教科書 Unit 7 の復習をし Unit 8 の予習をする。	1	
9	Unit 9:未来表現 (will と be going to) について学習する。	講義	教科書 Unit 8 の復習をし Unit 9 の予習をする。	1	
10	Unit 10:現在完了形について学習する。	講義	教科書 Unit 9 の復習をし Unit 10 の予習をする。	1	
11	Unit 11:助動詞について学習する。	講義	教科書 Unit 10 の復習をし Unit 11 の予習をする。	1	
12	Unit 12:不定詞と動名詞について学習する。	講義	教科書 Unit 11 の復習をし Unit 12 の予習をする。	1	
13	Unit 13:比較級と最上級について学習する。	講義	教科書 Unit 12 の復習をし Unit 13 の予習をする。	1	
14	Unit 14:接続詞について学習する。	講義	教科書 Unit 13 の復習をし Unit 14 の予習をする。	1	
15	Unit 15:受動態について学習する。	講義	教科書 Unit 14 の復習をし Unit 15 の予習をする。	1	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	0	20	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	10	30
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を見発見・解決する力	0	0	0	0	10	10	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	毎週小テストを実施し、授業中に学習した内容の定着度により評価する。また学期末に筆記試験を実施し、授業で学習した内容の定着度について総合的に評価を行う。				小テストの添削および返却、試験の評価	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①	授業内容に基づいて各自作成した英文について口頭で発表を行う。英語で積極的に発話する態度の有無やイントネーション等にも注意を払って発話できているかも評価の対象となる。				授業内の教員によるコメントおよび助言	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となる。				授業内の教員によるコメントおよび助言	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士課程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに多文化共生活動や医療通訳者の育成・普及活動に携わる。						
実 践 的 授 業 の 内 容	英語教授の経験と海外での経験を活かし、基礎英語力のみならず英語を楽しむ姿勢を身に付けることを目指した講義を実施する。						
そ の 他	英語のコミュニケーション面も重視するため、授業への出席および積極的な参加が非常に重要となる。単に出席するだけではなく、授業中のペアワークやグループワークにも積極的な姿勢で参加することが求められる。また、授業内容の理解度を高めるために予習をし、学習内容を定着させるために復習を必ず行うこと。日常的に英語に触れることで英語力を高めることができるので、毎日英語に触れる機会を作ることが望ましい。						